

Q：セシウムという化学元素が度々見聞しますが、どのような元素なのでしょうか？

A：大気中、陸地、海洋でも至る所に存在し、除染作業とは、セシウムを除去できるか、どうかです。

セシウムとは何でしょうか？

高校の化学の時間を思い出して、一寸の間 聴講して下さい。

現在問題になっているのはセシウム 137 ですが、これはセシウムの放射性同位体であり質量が 137 のものを指す。ウラン 235 などの核分裂によって生成するモノであって半減期 30 年（正確には 30.1 年）の厄介な存在です。

セシウム 137 は自然界には殆ど存在しておらず、極めて低い確率で起こる天然ウランの自発核分裂で痕跡量が僅か生成される程度です。

他の大半の放射性同位体は安定同位体から生成され得るのに対して、セシウム 137 から生成される。そのために 1940 年代前半までは自然界には殆ど存在しなかった。

ですから我が国での放射性物質による汚染は広島・長崎の被爆より始まるわけですが、第二次大戦後の 1940 年代後半から 1960 年代前半までの先進大国と称する各国が競い合っ
て原水爆の核実験を繰り返し 20 数年間で 2 千数百回も実験していたのです。さらには当
事国がひた隠しにしている核の事故が相次ぎ、放射性物質をまき散らした放射性物質は世
界中を汚染したのです。

当然ながら我が国も汚染被害があり 1960 年代の前半以前にこの世に生を受けている人は 1 日 1 Bq 以上摂取していたと言われた位で、降雨があると翌日の新聞には昨日の放射性物質のカウントの数値が発表されておりましたが、余り気にもしませんでした。

1940 年代から 1960 年代まで世界の各地で原水爆実験が盛んに行われ、世界唯一の被爆国であるから、原水爆実験中止を訴えるデモや糾弾の大会が開催されたが、学生運動も盛んで安保闘争と並んで原水爆実験反対の運動が盛んに行われた。

右のグラフをみると 1960 ~ 1964 年が最大の放射性汚染が凄かったことが判る。

その後急速に収束したのは、米ソの核開発競争が冷却したわけではなく、監視衛星の打ち上げ競争に転換し、当時、米ソは宇宙戦争と呼ばれた軍事衛星競争にエスカレ - トして、巨額の経費のかかる闘いで、経済的に追い詰められ、特にソ連は連邦破綻の路を歩む転落への路であった。

放射性物質をまき散らす核実験競争はひとまず終止符を打ったが、続いて大国にならんと野望を持った国々が核実験を始めた。

そして原発事故が続いてまたもや大気や海洋汚染が続いている。

